EA760A-13A（ウッドファインダー）取扱説明書

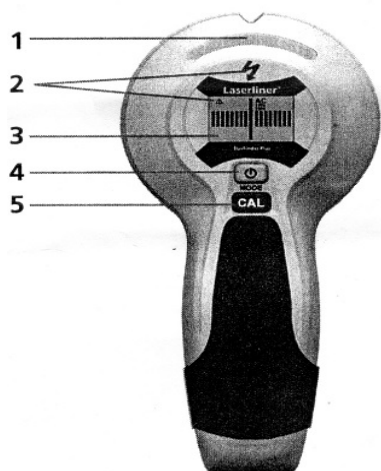
Ver.1.0

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

**※当製品ではAC-SCAN・STUD-SCANの2つのﾓｰﾄﾞが選択でき、金属のない場所での
活線の位置検知、また金属のない壁の中の木の梁等の位置検知ができます。**

テクニカルデータ

検知範囲	110-230V、50/60Hz
使用温度範囲	0℃～40℃
保管温度	-20℃～70℃
電源	006P　9V電池1個
サイズ	85×180X38mm
重量（電池を含む）	163g
測定深さ	
木/金属の桟木、梁の位置（STUD-SCAN）	4cm以下
活線の位置（AC-SCAN）	4cm以下

各部名称

1、最大値表示
2、活線警報
3、LC表示
4、ON/OFF
　モードの切り替え（MODE）
5、手動校正（CAL）

電気の流れている付近で,スタッドスキャンモードをする時は電源を切って下さい。

1 電池の入れ方
本体の後にある電池ボックスのカバーを開き、
９Ｖ電池極を間違わないように入れて下さい。

2 電源の入れ方
ON：短くON/OFFボタン（4）を押すと電源が入ります。

OFF：２秒間ON/OFFボタン（4）を押すと電源が切れます。

オートオフ：最後の計測が終了して30秒後に自動的に電源が切れます。

3 校正

AUTO CALIBRATION **自動校正**

自動校正は電源を入れると測定モードになりAC-SCAN測定は直ぐにできます。
校正中、ディスプレーに小さくCALと表示されます。校正中は動かさないで下さい。
ディスプレーにCAL OKと表示されたら検知開始できます。

手動校正

手動校正ボタン(5)を押す。
手動校正とは、測定を再スタートし、検知物をより正確に検知する事が出来ます。

注意　STUD-SCANモードで校正中と測定中は検知器と壁とは接触させてください。

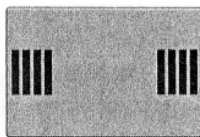
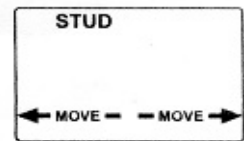
4 測定モードの選択

短く測定モードの切り替えボタン(4)を押す
AC-SCAN:金属のない場所での活線の位置検知

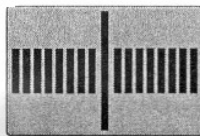
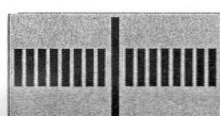
STUD-SCAN:金属のない壁の中の木の梁、桟木や金属の検知

5 STUD-SCANモードの測定

金属のない壁裏の木の梁、桟木や金属の検知、例えば石膏ボード、ベニヤ板その他の覆い材など。

①STUD-SCAN(4)を選ぶ。
②検知器を壁に平行に置く
③CALボタン(5)を押し校正が完了するまで待つと
　CAL OKが表示されます。
④検知器を壁の表面に沿ってゆっくりとスライドさせせます。
⑤表示画面が下記のように表示、色点灯します。

line, object is nearby

目的物は傍です

STUD-SCANモード
緑/赤:目的物は傍です。
　緑:目的物は直下です。

line, object found

目的物は直下です

直下時、下記のように音が鳴りますので、シンボルマーク上でマーキングします。(両サイド)

シンボルマーク

⑥2つのマークの間がスタッド(桟、梁)の中央です。
⑦本器はスタッドの両側の角やドア、窓、コーナーの付いているエッジを見つけます。

ポイント

・**スタート地点が重要です。**:
最初に置く位置はスタッドが無い事が判っている事。
でなければ表示に “ERROR”と出ます。
検知器を数センチ動かして再スタートして下さい。

・スタッドを検出したことを確認してください。
念の為、等間隔で他のスタッドがあるかチェックして下さい。
又、最初に検知した場所の上下数か所でチェックして下さい。

・検知している途中に干渉を防ぐ為に、使用していない手を検知器から最低15cm離して下さい。

以下の材質は検知できません。

・セラミック床タイル
・パッド入りの裏打ち装着カーペット
・金属繊維又は金属箔の付いた壁紙
・塗り立て、湿った壁。

注意
もし電線や、金属、プラスチックパイプが石膏ファイバーボードパネルの傍か、接触しているのであれば、これらは本器によってスタッドと同様に識別することができます。

6 AC-SCANモードの測定

石膏ボードや木製パネル、他の金属の含まない乾燥した 装材の下にある活線の検知が出来ます。
乾燥した装材の下に金属製のスタッド(桟、梁等)があれば検知できません

①AC-SCANを選ぶ(4)
②ディスプレー表示がCALからCAL OK に変わると、検知が出来ます。
③壁の表面に沿ってスライドさせてください。
④活線を感知すると、表示画面が下記のように表示、色点灯します。

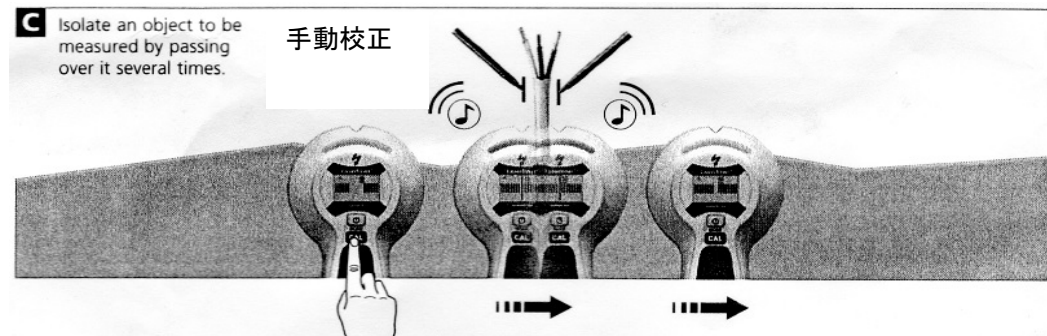
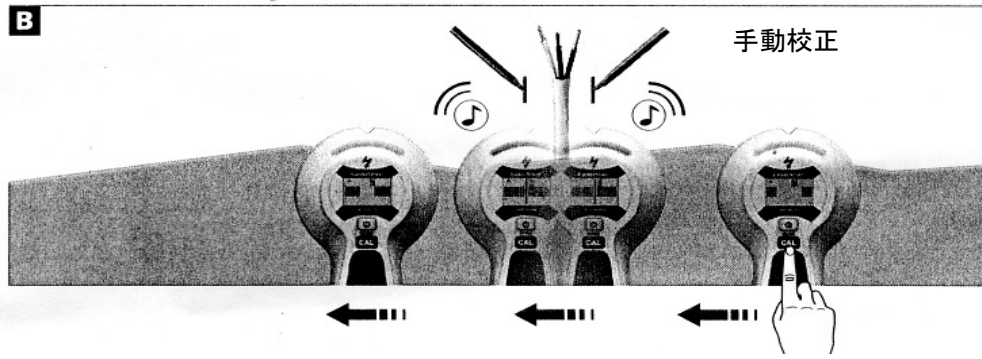
目的物は傍です

AC-SCANﾓｰﾄﾞ
緑:活線は傍です
赤:活線は直下です

目的物は直下です

直下時、下記のように音が鳴りますので、
シンボルマーク上でマーキングします。
(両サイド)

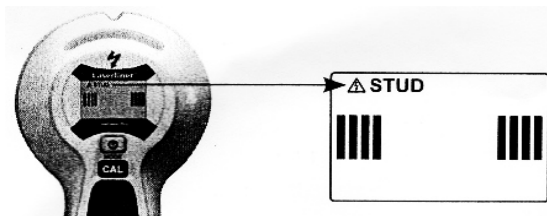
シンボルマーク

⑤下記イラストB、Cに示すように、手動校正は最後に見つかった場所の近くで行って下さい。
必要であれば作業を繰り返して下さい、より正確な活線場所が感知できます。

ポイント

- 静電気の変化によって、電界は活線付近で検知します。
  変化を無くす為に空いている手を壁に当てて下さい。
- 摩擦は静電気の変化干渉が発生するので検知器をゆっくり動かして下さい。
- 電線があると思われるのに見つける事が出来ない時は、
  電線管で隠れているかもしれません。
  STUD-SCANモードを使用して下さい。
- 壁の中の金属(例:　金属の梁)は電界を送るので干渉の元になります。
  この時はSTUD-SCANモードを使用して下さい。
- 検知開始の位置が重要です、高感度を得る為に活線が無いと知っている位置に
  検知器を置いて始めて下さい。

⚠ 活線は深さ40㎜以上検知出来ません。

7 STUD-SCAN:電流の監視

電界が検知されると非シールド線においての連続電流監視が出来ます。

・活線の検知範囲はAC110～230Vです。

改造はしないでください。
- 本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ご使用者が怪我をする場合があります。
- 作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929

14.Nov.